

ふたがた

2025
3月

第99号



C o n t e n t s

- P 2…副施設長挨拶
生活支援第一部（おおくら園）
- P 3…生活支援第二部（かまくら園）
リハビリテーション支援部
- P 4…生活支援第三部（とがくら園）
食事サービス課
- P 5…生活支援第四部（はちくら園）
医療支援部
- P 6…日中活動支援係・地域移行推進係
お知らせ・編集後記

【写真の説明】

| | | |
|--------------------|--------------------|---------------|
| 綺麗なイルミネーション / おおくら | CAPP 活動でワン / はちくら | 爽やかな散策 / とがくら |
| パンジー育てます！ / 日中活動 | おめでたい大吉おみくじ / かまくら | 座る練習中 / リハビリ |

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会
障害者支援施設 宮城県船形の郷
<https://fukushi.miyagi-sfk.net/sato>

〒981-3625 宮城県黒川郡大和町吉田字上童子沢21
TEL 022-345-3282
FAX 022-345-3984

「挨拶」

副施設長 古川 浩智

厳しい冬の寒さも終わり、春の温かさを感じることが多くなってまいりました。

さて、船形の郷では昨年4月に長年の施設整備が完了し、介護研修センターの船形の郷への移転、新管理棟の完成、新はちくら園の開所、リハビリテーション支援部の業務開始など様々な変化がありました。

新しい設備を活用した取組みも開始されており、支援の充実が進んでいます。

利用者の皆様も新しい施設に大分馴染まれてきていると感じています。

なお、生活支援第四部はちくら園では、来年度以降も段階的に係の新設を予定しており、現在その準備を進めております。今年度の女性利用者に続いて、来年度は男性利用者を受入れることを予定しており、受入れる利用者の皆様が楽しくまた快適に生活できるよう、その準備に鋭意取り組んでおきます。

生活支援第一部おおくら園、生活支援第二部かまくら園、生活支援第三部とがくら園も、職員一丸となって支援の充実に向けてまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力を願っております。



各部署の取り組み状況

生活支援第一部 (おおくら園)

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

利用者様の地域生活及び社会参加を目標に、日々支援に努めています。

また、ご家族様との連携を大切にしています。毎月各ご家庭へ担当職員から近況報告を行っており、ご家族様の意見等を伺いながら、支援に反映しています。

☆地域移行に向けて

自立訓練室を活用した体験や、生活スキルの練習などに取り組みしており、皆様積極的に参加されています。今年度は、1名の方が地元のグループホームに移行されました。



☆外出・地域交流

初詣などの季節行事やふるさと訪問、買い物や理髪店での散髪をはじめとした社会体験など、それぞれのニーズに合わせた外出を実施しています。皆様の生活の充実のため、新型コロナウイルス流行前のように、徐々に活動が広がるよう模索しています。



☆日中活動

個々の特性や興味に合わせた自立課題、スナールームの活用、CAPP活動など、幅広い活動を提供しています。



☆日帰り旅行

今年度は、松島への日帰り旅行も実施しました。天気に恵まれ、気持ちのよい旅行となりました。



生活支援第二部
(かまくら園)

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

行動障害や自閉的傾向のある利用者様の意思尊重、尊厳を重視したサービスを提供し、能力に応じて自立した日常生活を営むことを目標としています。社会体験外出や行事を通して潤いのある生活を送っていただけるよう取り組んでいます。



☆強度行動障害支援の取り組み
強度行動障害とは、不安・緊張から本人の健康や周囲の暮らしに影響を及ぼす行動の頻度が高いため、特別な配慮が必要な状態のことです。安心した状態で過ごせるように、予定をイラストで視覚的に提示する仕切りなどで集中して過ごせる環境を整備するなど、一人一人に適した支援を検討し提供しています。



☆クリスマス会
12月、クリスマス会を行いました。美味しいお弁当やケーキを召し上がり、サンタさんからプレゼントをもらいました。



☆ハロウィン
10月、係ごとにハロウィンを開催しました。皆様素敵な仮装をして、お菓子を受け取っています。



☆日常生活の様子
日々の生活の充実を図るため、一人一人に合わせた日中活動、社会体験外出等を行っています。また、自立した生活を目標に、お手伝い等にも取り組んでいます。



☆シクラメンで感謝を
お世話になっている『セブンイレブン大和陸上自衛隊前店』様へ、1年間の感謝の気持ちを込めてシクラメンを贈りました。



☆車椅子等に対する支援
船形の郷にある全ての車椅子を清掃し、点検を行いました。その結果壊れているものは修理し、体に合っていない方は作り直しの支援を行いました。
これらの支援は、現段階では多くの利用者様に十分行き届いていないといえませんが、今後少しずつ各部に充実させ、できるだけ多くの方に質の高いリハビリテーション支援を提供していきたいと考えています。



リハビリテーション支援部
4月にリハビリテーション支援部が開設され、もうすぐ1年が経とうとしています。今年度、私たちが取り組んだ内容についてお伝えします。
☆個別リハビリテーション
それぞれの利用者様が好む活動を通じて、楽しみながら体を動かしていただけるように心掛けました。リハビリ室に設置されている福祉機器を積極的に活用し、立てなかつた方がわずかな介助で立てるようになったり、声掛けへの反応や表情が良くなるなど、心身機能が改善する方が多くなりました。

生活支援第三部 (とがくら園)

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

高齢の方が多く、7割以上が車いすを使用しており、移動には介助が必要です。ボランティアの受入れなど、地域の方々との交流を通して生活意欲の向上につなげ、利用者の皆様の笑顔を引き出せるように取り組んでいます。



☆日中活動
個々のご要望や身体機能などに合わせた日中活動を提供しています。散策や創作活動、カラオケなど、意欲的に参加されています。今後も、楽しく充実した活動が、皆様の笑顔や喜びにつながるように取り組んでいきます。



☆敬老会
敬老会を開催し、75歳以上の方々の長寿をお祝いしました。80歳を迎えた方には、町から敬老祝いが贈られました。最高齢の方は90歳です。これからも、皆様元気で過ごしてください。



☆ドライブ外出
秋の清々しい空の下、ドライブ外出を実施しています。ご要望に合わせて、道の駅やスーパーでの買い物、公園の散策をしました。皆様、思い思いの時間を過ごし、リフレッシュできたようでした。



サンタクロースからのプレゼントや、特別感のある食事も、皆様に喜んでいただけたようです。



☆忘年会・クリスマス会
12月に忘年会を開催しました。余興で職員一同によるダンスを披露し、利用者様も一緒に盛り上がりました。

食事サービス課

栄養バランスを整えて、規則正しく食事を摂ることは、健康な生活を送るために大切です。
特に、納豆やヨーグルトなどの発酵食品は腸内環境を整え、たんぱく質やビタミンやミネラルは免疫力をアップさせる効果があります。
利用者様が健康な生活が送れるように今後も栄養面でサポートしていきます。

【調理員おすすめメニュー】
今年度は12回実施しました。

- ★カツサンド
- ★豚カツラーメン
- ★ずんだホイップパン



【希望メニュー】
利用者様との懇談会で出た意見を参考に、2月・3月に、希望メニューを提供しました。利用者様に喜んでいただけるようにスタッフ一同頑張ります。



生活支援第四部 (はちくら園)

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

行動障害や自閉の傾向のある利用者様が多く在籍されています。広々とした環境を活かし、個別支援、自立支援を充実させ、明るく生き生きと生活できるよう取り組んでいます。

☆自立課題の取り組み

行動の生起頻度を高めることを目指す応用行動分析学のひとつである「トーンシステム」を取り入れています。どれくらいで目標に到達できるか見て分かる技法です。

課題や掃除などをするたびにシールを一枚ゲットし、所定数がたまったからお菓子や文房具など、目的のものと交換します。自分のがんばりと結果が目に見えて、皆様のやる気もアップです。



☆忘年会（ごっつおーを食べる会）

12月4日、はちくら園全員で大和町吉岡にある『八幡はなびさ』に出かけ、忘年会を行いました。お刺身や天ぷらなど豪華な食御膳を食べながら、和やかな雰囲気です。1年を振り返りました。



☆クリスマス会

12月24日、クリスマス会を開催しました。サンタさんからのプレゼントに笑顔が溢れていました。



☆社会体験

個別の希望に合わせて、地域で買い物・外食など様々な体験ができるよう『個別外出支援』を行っています。



利用者様から好評の『ドライブ外出』。みんなでバスに乗り、季節に合わせたお出かけをしています。



イルミネーション見物（大郷町）

紅葉狩り（三本木）

梨狩り（利府町）

医療支援部

☆免疫力アップ

新型コロナウイルスの世界的流行は、多くの人たちの生活を変え、心情にも変化をもたらしました。生活のリズムが乱れた人もいれば、気持ちが塞ぎ込んで、何もする気が起きないという人もいます。心身の不具合は免疫力の低下にも繋がります。



様々な感染症に負けないためには、それぞれが持つ免疫力が重要です。免疫力を高めるのは、①適度な運動②ポジティブな思考③体を温める④食事（ビタミンA・C・E、良質のたんぱく質）⑤少量のアルコールです。

逆に、①加齢②激しすぎる運動③睡眠不足④精神的ストレス⑤ネガティブな思考⑥不活動⑦昼夜逆転⑧過度のアルコールは免疫力の低下につながります。



年間を通して、様々な感染症が流行します。感染症に負けないよう免疫力がアップするよう生活に心掛けていきましょう。



日中活動支援係

◎軽作業等による日中活動の提供

【係の特色と目標】
「作業支援」や「社会体験外出」等に取り組み、地域との関わりを含め、「その人らしい生活の実現」を目指します。

日中活動支援係では、屋内外作業班での活動の提供を行っています。地域社会との交流行事への参加も再開し、社会参加促進に努めています。

☆屋内作業班

ランドリー作業では、畳み方から仕分け、袋詰め、各部への配達までを全員で行っています。

また、新たに取入れたシグソーパーや色分け等の指先を使った活動も好評です。繰り返し取り組んだり、難易度を上げて挑戦したりと、意欲的に活動に参加しています。



☆屋外作業班

今冬はパンジーとピオラを苗から育成しました。灌水や摘心、定植作業など、皆様一生懸命に取り組まれています。12月に各部・管理棟へプランターの納品と花壇の定植を行っています。綺麗な花が咲き大変喜ばれています。



☆介護予防教室

住み慣れた地域で元気に暮らし続けられる社会を目指し、12月23日に町民の方を対象に介護予防教室を開催しました。口腔ケアや介護予防体操などをテーマの方々にご参加いただきました。

【活動日】土日祝日を除く
平日（9時～16時）

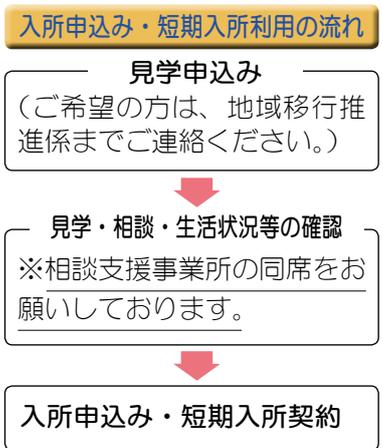


地域移行推進係

【係の特色】
入所や短期入所に関する相談の受付や、利用者様の地域生活移行等を担当している部署です。
電話：022-725-0606

◇入所・短期入所について

○利用対象となる方
入所：知的障害のある障害支援区分4以上（50歳以上の方は障害支援区分3以上）の方。
短期入所：知的障害のある障害支援区分1以上の方。



◇ご利用料金

★施設入所・生活介護
・食費：1,490円/日
・光熱水費：320円/日
・その他日用品等：実費

★短期入所
・食費：朝430円、昼530円、夕530円
・光熱水費：320円/日
※施設入所・短期入所共に、所得に応じた軽減措置となる場合があります。

福祉QC活動全国発表大会 優秀賞・感動賞受賞

「第34回福祉QC活動全国発表大会」で、生活支援第一部の発表が優秀賞と感動賞を受賞しました。福祉QC活動とは、福祉サービスの質の向上に向けた業務改善の手法です。



今回は「視覚支援で安定した生活を掴もう」をテーマに、個人の特徴に合わせて、分かりやすい掲示物などを作成する取り組みについて、発表しました。
詳しくは、日本福祉施設士会のホームページをご覧ください。

編集後記

今年もとても寒い冬でしたが、利用者様の元気に寒さも吹き飛びました。素敵な笑顔が溢れ、掲載写真を選ぶのも一苦労です。
桜の開花ももう間近。暖かな春の日差しの中、利用者様も心地よさそうに過ごされています。
船形の郷ホームページにも、行事や活動の様子が掲載されておりますので、是非ご覧ください。
広報委員会